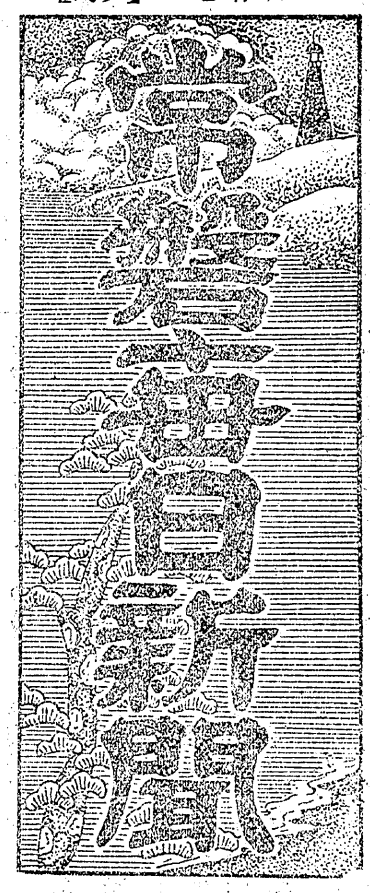
二月廿七日【夕刊】



定價一部一金壹錢　一月一金壹錢　郵税五厘
廣告料　五號十三字詰一行五十錢
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人　平城石島福
發行所　常磐毎日新聞社　福島縣平市五町目橋本町三六番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

輕々視すべからざるカンニング（二）

三輪田元道

かういふことを考へながら今日の學生々活を考へると轉た寒心に堪えないものがある。中でもカンニングは最も寒心すべきことである。これは小學校時代には大したことはないやうに思はれるが、然し、些細にこれを見るときは宿題に父の手が入り、母や兄姉の助を藉りたものが少くない。殊に繪畫の展覽會などに於て先生の手の入つたものが大都市の美術館を飾つてゐることがないではない。これなどは實に大きな又恐るべきカンニングである

女學校に於ては中學に於ける程カンニングは行はれない、然し先生がぼんやりしてゐると習字などは上手な人に書いてもらひ、裁縫に母や家庭の人の手の入ることがないではない。けれども女學校にあつては各クラスに同じ問題を出すやうな場合に他のクラスに云つてはならぬと云へば、必ずそれを守る。これに反して中學校ではよし如何に禁じてもすぐに他のクラスのものに問題を漏らしてしまうこの點では女は正直とも云へるが多くは嫉妬心のためで、即ち問題を他級のものに漏らすとそれらの人々は自分よりよい成績をとるからといふのである。これに比すれば中學生は淡白だともいへるが然し命令に叛き誓を破り約束に反してゐるのである、この約束を破るといふことは嫉妬などよりも社會生活を破壞する上に於て遙かに惡なのである。要するに中學では女學校よりもカンニングは多く行はれる、この多いといふことは習慣となりやがてこれの默許となる、かくなつては教育は破壞である。

處がこのカンニングの默許は單に學校に於てばかりではない、かの官公史その他役所の役人の出張などについて見るに實費支拂といふことが出來ぬ、例へば汽車、電車賃、宿賃、女中への茶代等について受取をとるわけにはゆかぬ、理想から云へば「僞りはない、俺を信せよ」でよい筈である然るに受取の必要あるはそこにカンニングの行はれることを意味してゐる、さういふわけで旅費規定といふのがあつて里程に應じてこれを支拂ふ、これは一目瞭然たるやうに思はれるが少しくそれを内省するとそこには甚だ正當ならざるものがある、實際の費用が豫算より足らねば更に貰ひ餘れば返せばいいのに餘つても返さず足らぬとて更に請求することの出來ぬのは何んたることであらう、よく聞く話であるが、二等の汽車賃をもらひながら三等車に乘り十圓の宿泊料をとつて七圓の宿に泊るものが少くない。下級の役人の中には旅費が少ないなど云つて實費以外の殘りのないこと不平をいふわけで會計に關することは二人以上五人位の監督の目を要するが、これなどは事を煩雜にし、四重五重の無駄な人件費を要することで甚だ國家的に不經濟極まることである、而もその原因がすべてカンニングにあるに至つては實にはしい事柄である。

中村式机上毛糸織物講習會

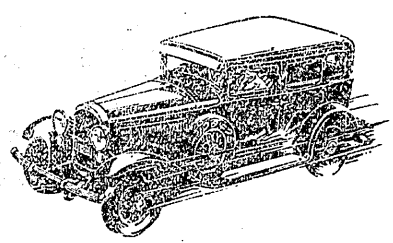
一、講師　東京高等技藝學院長　中村古里女史
一、案　考　者　ほか助手一名
一、日時　二月二十八日（土）　三月一日（日）　三月二日（月）　三日間　午前九時半ヨリ午後三時頃マデ
一、會費　金壹圓五十錢
一、會場　平町藤田女學校講堂
一、申込　當日迄藤田女學校又ハ田町ハシモトヤ糸店ヘ
一、其他　◉器械御入用の方は實費頒布一臺四圓なそうです　◉菫食は（パン屋）の出張あり　◉遠方で通學不便の御方は當校寄宿舍を御利用下さい

昭和六年二月
福島縣平町
主催　藤田女學校講習會
電話三二八番

磐城土産
鰹節と鹽から
配達敏速
魚岡屋
最優最大日本生命
平店理代
榮盛賀志
平四丁目電二一三番

君知るや
山崎時計店を……
親切で堅くて信用のある店
修繕物は叮嚀・迅速・破額なり
山崎時計專門店
五丁目新川町通り（吉田屋染物店前）

三九二タクシー……三九二タクシー
獅子吼の勢で……三九二タクシーへ
三九二タクシー……三九二タクシー
獅子吼の勢で……三九二タクシーへ
新車セダン型三臺取揃へて皆様の御用命を御待申して居ります何卒お引立の程を!!
マツザキ自動車改め
三九二タクシー
電話（三九二）（四四九）番
貨物運輸にトラックも御座い升



春衣新柄御案内
最も新らしき柄の
銘仙とモスリン着尺
優秀特選
春の帶側
いづれも新品豊富に取揃へました
是非御覽下さい……
三井呉服店

ヨウ！モーダン！
いゝ服を求めたね
斷然三一年型だよ
いやコレカネ
例の……「ソレ」
正札堂さ

平町四丁目停車場通電四三六

内郷の戸數割平均
平町より十圓低い
豫算總額は十万四千圓 小學校費が大半を占む
内郷村會開かる

その人口においては本縣下第四位を占めて一躍市制を敷かうとしてゐる炭礦村内郷村では今二十七日昭和六年度豫算を付議したが豫算總額十萬三千七百八十九圓にてその内小學

校費が 六萬七千八百三十九圓を占めてゐる而して之が財源は村税三萬七千百三十三圓、磐城炭礦寄付一萬二千圓、義務教育費國庫補助その他の收入をもつて之に當てるが同村戸數二千三百五十戸に對しやうやく一戸平均七圓六十九錢を賦課して居るに

過ぎぬ 有様でこれは昨報平町明年度豫算の一戸平均十七圓五十錢に比較すると遙かに十圓の差がある尚吏員や教員の給料は現狀の儘計上されて居るが議員中から多少減俸の動議が出る模様であると

基礎として町村補助並に有志寄附を合して貧困兒童に對し追加交附すると

平	六六圓三八錢
玉川	九六、九四
三坂	二七、九二
錦	一五三、三九
田人	一六七、三五
小名濱	七〇、〇七
好間	九〇、〇〇
川前	八一、二四
入遠野	一三一、六七
飯野	一〇九、八九
磐崎	九八、四五
四倉	六八、二六
上遠野	二八九、四一
計	一三六一、八九

兒童就學
恩賜奬勵金
本日交附

昭和五年度の恩賜兒童就學奬勵金は本縣より本日附を以て交付されたがそのうち石城郡における分は左の如し尚各町村では本交附金を

湯本水道事業
本日認可
内務大臣から

兼て内務省に對し水道敷設事業の認可申請中であつた湯本町の同事業は今廿六日内務大臣から認可があつた

平藝妓組合總會

平町藝妓屋組合では明廿七日午後一時から同町谷口樓に於いて總會を開き昭和五年度の決算報告並に諸般の協議をなすと

特別仕立の機關車で
判事一行が實地檢證
一審に鐵道省が敗けた
磐崎村地内の轢殺事件

今から二年前昭和四年四月石城郡磐崎村大字船尾富岡清三郎次女こと子(九つ)が同村地内の常磐線湯本、泉間において上り第二二四號列車のために無慘にも殺轢されのた事件は清三郎並にその妻の名で鐵道省よりの弔慰金二十圓に

不服を 抱いて江木鐵相を相手取り慰籍料金一千圓也の請求訴訟を提起し昨年八月第一審において原告夫婦の勝訴となり業務上過失放死罪の結果鐵道省は原告請求通りの金を前記夫婦に對して支拂ふべしとの判決言渡があつたが鐵道省は之に服さずして宮城控訴院に控訴し同院民事第一部では小野寺裁判長係りのものと審理をつゞけてゐたが裁判長初め岩澤、河田兩判事高橋書記の

一行は 來る三月廿二日事件發生の現場實地檢證を行ふことに決し當日判事一行は特に鐵道省が仕立てる〇五一型機關車に乘り込み現場の實地檢證をなすことになつたと

◇……◇

待人占ひ

只今は舊のお正月で皆様はお友達などを呼んでカルタやトランプ遊びに樂しく過ごされてゐるでせう。さういふ時約束したお友達が來なくてじれつたくなる時がございますね。そんなやくそく破りの失禮な方は皆様方のお友達にはないと思ひますけれども、萬一さういふ場合がございましたら左の占ひをしてごらんなさい

イ、先方から來た手紙の封筒の切手が眞直に貼つてあれば必ず來ます

ロ、白銅貨を二つ投げて表又は裏のどちらでも宜しい揃つたなら待人は來ます

ハ、爪楊枝の先を焼き火鉢の灰にクルクルと百遍輪を描く間に邪魔がはいらなかつたらきつと來ます

ニ、フト時計を見ます、長針が奇數の所を指してゐたら來ますが偶數だと來ません

トラホームは
漸次減少
衛生思想の普及からか

平署の調査による管内のトラホーム患者は左の如く檢診者の一割强を示して居るが衛生思想の普及その他から逐年減少しつゝある由

△接客業者(男)一九四〇名の中二四〇人(重患二五人)(女)二〇二七名の内二七五人(六十人)

△工場從業員(男)二五一名中十四人(二人)(女)四五名中四(一)

△壯丁一二四五名中一八五人(一〇人)

△其他(男)一〇六五六名中一三三七人(一四〇人)(女)一八〇八名中一二三四人(一四〇人)

修得狀授與
染色講習會

縣主催の染色講習會は去る二十三日から昨二十六日まで平町草野七五三之助染工場で開かれたが出席者は四十名で昨日には本縣商工課長野上七三氏臨席平警察署會議室で修得狀授與式を擧行した

箕輪青訓
實地指導

石城郡箕輪村青年訓練所では來る二十八日午後十時より同村第一第二小學校に於て軍事教練の實地指導を行ふ事になり陸軍大尉鈴木忠吾氏を招聘する事になつた

滿州だより

二月二十六日着川崎本社長は去る二十五日夜大連着本社宛に左記電報があつた

サクヤツイタゲンキヨシ

平町人事

□出生

△六間門二四　だ達郡櫻田加藤敬義氏三女和子

□死亡

△三丁目　一江原定吉

藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

夜間も診療致します
丹野齒科醫院
日本大學齒科醫學士　丹野淳
平町白銀町十五番地（鐵道官舍際）

カフェー
イヤスモテルカフェ
レストランサロン

◇質物一般◇
三井質店
平町四丁目南川岸通り
電話六〇六番

貸切の！
御用命は……
三十一年式モダン型
ランドーセダンの
磐城タクシーへ
電五六九

無電の發信受信共 備附けた盛厚丸

東北地方では第二番目

目下三菱で建造中

石城郡江名町吉田厚氏は遠洋航海漁船盛厚丸八五噸を下關の三菱造船所にて佐藤技師監督のもとに目下建造中であるが同船の新裝置として漁業用無線電信、電話の發信及受信の設備を計劃し遞信省に認可申請中の處去る二十四日許可の通知あつたが同船は呼出符號J・Y・G・Bで波長二〇〇乃至六〇〇米であると、單にラヂオ聽取のみの施設ある漁船は多いが無電の發信及受信

兩設備の漁船

といふのは東北地方では宮城縣桃生郡の渡波漁業組合所屬の網地丸があるだけで實に盛厚丸は第二隻目である

一部町議間に 水道値下說

今期町會に動議提出か

平町における水道使用料は從來一ヶ月共用栓一戸四十錢專用栓一戸五十五石まで八十四錢で明年度の水道部豫算からみれば前年度から一千七百圓の收入增を示し水道維持及擴張工事費にあてゝゐるが不況の折柄一般町稅の減額をみた今日水道使用料も値下をして町民負擔の輕減を計ることも考へねばならないと一部町議間に唱導されてゐるが元來水道使用料は他町村に比して高いとも言はれてゐるのであるから之が値下に關する動議が今期町會に提出されるものと觀られてゐる

公金辨償問題 變テコに

村會翌日に 前村長死亡

石城郡平窪村村會は前村長木田源一氏に對し休業中の磐城銀行にあづけた公金三千五百圓が回收不能となつた今日之が保管監督の責任あつた木田氏は村に與へた損害を辨償すべきであると前記三千五百圓の辨償方を決議したことは既報の如くであるが運命のいたづらかその翌日木田氏は遂に病死した爲め同問題は今後如何に發展するか興味を以てみられてゐるが縣當局としては辨償する必要なしとの解釋をとつてゐる一方同村松崎松治氏等は之を家督相續者に負擔せしむべきであると力說してゐるので縣下の耳目を衝動せしめた問題も變挺な經路をたどりつゝあると

昨夜烈風中を 好間官有林燒く

消防殆んど手のつけ樣なく 一町余段燒失す

二十六日午後七時頃から石城郡好間村北好間官有保安林から發火し折柄の烈風に煽られ猛烈な勢をもつて延燒中附近を通行中の荷馬車業者菊地某が發見し、スワヤとばかり消防隊、青年團等出動し消火に努めたが火勢强く密林の爲め殆んと手の下しやうなく二十七日午前二時に至り漸次鎭火したが附近一帶は官有林地が續いて居るので非常な大騷ぎを呈した燒失面積一町余段損害は約三千圓で原因は通行人のタバコ吹殺らしいと

惜しまるゝ 武田所長

平町には七年の馴染

東部電力株式會社平營業所長武田精一氏は同社今回の大整理によつて突如退職することになつたが武田氏は大正十一年七月當時郡山電氣株式會社平支店長として來任し昭和四年郡電と東電の合併に際し同年四月郡山營業課長となり次いで七月東京本社營業課長に榮轉し

陸軍紀念日

八谷少佐 軍事講話

縣立磐城中學校軍事教官陸軍歩兵少佐八谷弘氏は來月十日陸軍紀念日を卜して同校講堂にて生徒に對し軍事講話をなす筈であるが尙同日磐崎小學校に出張奉天會戰を中心として新兵器、各國の軍備狀態等につき一場の講演をなすと

自動車に 德利を投ぐ

醉漢亂暴し 運轉手負傷

磐越東線某驛々夫鈴木春江（三七）假名は去る二十五日午後八時頃年始廻りの歸途飲酒泥醉して平町二丁丁地内を徘徊中、前方より疾走して來た同町二丁目ミクニタクシーの乘合自動車目がけて眞正面から二合入の德利を投げつけたゝめ自動車の窓ガラスが滅茶々々に破壞され運轉手松崎某はガラスの破片で前額部に全治一週間位の傷を負つたが犯人は直ちに平署に檢束された

女中さん 姓名在社

入用

町會議長を 設置したい

建議提出か

平町は本縣下においても三市に次ぐ戶口を有し町政も日に日に多端を加へるので最近町會議長設置問題が一部町議間に叫ばれるに至つたが遠藤助役が一月以來病氣の爲め長く靜養中であるといふ所から一層この必要を痛感するとてこれが設置建議案を今期町會に提出せんとする模樣である

今日のラヂオ

仙台放送局

廿八日

▼前七、〇〇 ラヂオ体操
▼前九、〇〇 氣象通報 經濟市況
▼前九、一〇 料理献立「甘酒雜煮」「かちん餅」東北女子職業學校發表 日用品値段
▼前一〇、三〇 家庭講座「現代の調理法に就いて注意すべき点」富山直子
▼前一一、四〇 經濟市況
▼正午 時報
▼後〇、〇五 俚謠「筑波小唄」茨城縣筑波藝妓連「九段音頭」東京九段藝妓連「澁谷小唄」東京澁谷藝妓連
▼後〇、四〇 ニュース 氣象通報 告知事項
▼後一、〇〇 經濟市況
▼後二、三〇 經濟市況 氣象通報 經濟市況
▼後四、〇〇 全國ニュース
▼後五、三〇 經濟市況
▼後五、四五 今晩の番組豫告
▼後六、〇〇（子供の時間）童話劇「俺も仲間にして貰はう」演出名古屋ABC團
▼後六、三〇 英語講座「中等科」三上條辰藏
▼後七、〇〇 ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項
▼後七、二五 義太夫さわり
▼後七、五〇 伊賀越道中双六沼津の段 竹本駒若 鶴澤二三龍
▼後八、一五 菅原傳授手習鑑 豐竹猿司 鶴澤三生
▼後八、四〇 艶姿女舞衣酒屋の段 竹本靜香 鶴澤清一
▼後九、一〇 未定 竹本伊達子 豐澤猿昇
▼後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項
▼後一〇、三〇 竹本播千代 竹本小播磨

氣豫報

今晩明日北西の風晴れたり曇つたり

文部大臣認可
平陽女學校入學案內
募集人員
本科 二ヶ年卒業 五十名
師範科 二ヶ年卒業 五十名
技藝高等科 三ヶ年卒業 五十名
仝 速成科 一ヶ年卒業 三十名
仝 專攻科 一ヶ年卒業 二十名
右各科共入學ヲ許シマス希望者ハ入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ三月末日迄ニ本校宛提出シテ下サイ
入學願書ハ本校宛申越下サレバ差上マス
福島縣平町
平陽女學校
電話四四五番

平げやみ
玉子ケーキ
十ヶ入金十錢
本品の特長
一、本品は卵及び蜂蜜を多量含入製造したるものにして滋養豊富にて實に本品三ヶで卵一個の効力を有す
一、日數を經るも軟かにして變味の憂ひ絶對なく子供、老人、病人、辨當代用、進物用として最も適す
一、最新式機にて製造し大量製產なるが故に價格低廉なり
平町三丁目
製造發賣元 たけや茶店

女文字

捕物おぼえ

東京　橋場鮒刺（米田安藏氏）

（其九）

心中片助け

『兎も角も六三郎、お前は當分俺の家にすくんで居るんだ、何とか解かる工夫を付けてやるから、不埒な氣を起しちゃア成らねへぜ』と三河屋安藏は、慰める。

『御親切有難う存じますが、手前が生て居る樣め人樣に御迷惑を掛けては惡うございますし、死んだお花さんに對しても、手前が生て居ては申譯がありません、殺して頂く譯にはなりませんか』

六三郎はホロ〳〵と涙だ。

『馬鹿を言ふな、俺の見込みぢやアお花はチャンと生て居ると思ふ、相手が生て居るのに手前許り死んぢやア詰るめへ』と笑つた。

『えッお花さんが生て居りますかね……』

『それは見込みだ、然生て居るとは分らねへが、然うも思へる夫れともギヤブンと飛込んだ、お花の水の音でも聽いたのか』

『サア……手前は直に水底へ沈んで終つたので……』と流石に不安な顏となつた。

『夫見ろ、多分死んだらうと思ふ外、一緒に身投げをしながら、能く分らねへぢやアねへか、詰らぬ事を考へずにおとなしく二階に小さくなつて居ろ』

『ヘェ……』

六三郎を其儘二階へ取こめて置いて夫婦は下へ來た。

『俺は直に出るからな、腹ごしらへをして樹らなくちゃアならねへ、早く飯にして呉れ』

『お寓和御膳をお出しよ……』と女中に命じて、酎德利を銅壺に入れる。

『お前さん』

『何んだ』

『お花と云ふ相手の女は助けられた見込みなのだね』

『然うよ』

『永代から飛び込まない前に助けられた譯かね』

『極まつてらア……手前に何と思ふ』

『私にやア何うも然う考へられないのだよ』

『ちやア何處までも助けられたと思ふのだね』

『多分お花の親父が跡をつけたものだらうと思ふ、親父から見れば相手の男は憎いが娘は可愛い、娘さへ助ければ却つて男の死ぬのは悲歎ひになるからな、若し然うだとすると、當分は娘を何處かへ隱して置く、ほとぼりのさめた時分に知らぬ顏で連出す、マア斯う云つた狂言の書おろしだらう、手繰出すにはチト手間が掛らう、あはゝゝゝア』と笑つた。

『お前さん、妾の思惑はチト違ふよ、妾は妾で思つたやうに一ツ働いて見たい、默つてお前さんの仕事のうらを掻く樣な事は出來ないが、好いかへ妾は妾でやつても……』とお千代も笑ひながらだ。

『ウム外に考へがあつたらやつて見な、何も大島屋への恩返しになる事だからな』

『其處までは判らないが、何しろ橋からは飛び込んだに違ひない氣がするのさ』

『其んなことがあるものか